

田村 統氏 「雨宿り」



〈コメント〉

サラセニアは、北米原産の食虫植物である。葉は筒状の落とし穴になっており、蜜により、昆虫を引きつける。しかし時として、逆にサラセニアを利用する生物もいる。クモやカマキリは狩場として、ある種のアリは、巣の代わりにしている。このアマガエルは、小雨の降る夕刻、気温の低下した頃にスッポリ捕虫葉に入っていた、おそらく寒さをしのいでいるものと思われる。

50周年記念大会写真コンクール入賞作品



当 津 隆 氏

「竹の四季」

〈コメント〉

拙作「竹の四季」一組写真が、学会賞をいただいて光栄です。日本列島の竹の粧いを撮るのが夢です。

山 下 明 良 氏

「ツチアケビ」

〈コメント〉

「ツチアケビの芽生え」

ツチアケビは大型の無葉ランの一種で、その花や実はよく目立つので出会った人も案外多いかもしれない。しかし、葉緑素をもたず栽培は不可能である。そのため、芽生えを見たことのある人は少ないのではないだろうか。この写真は、10年ほど前に、宍粟郡千種町の自生地に何度もかよって写したものです。

